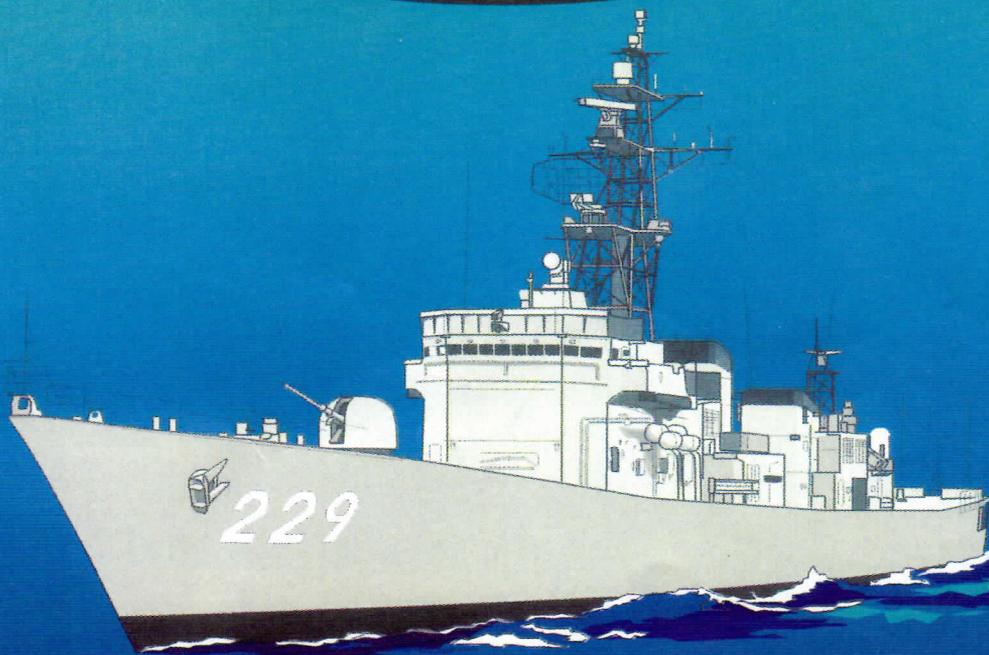
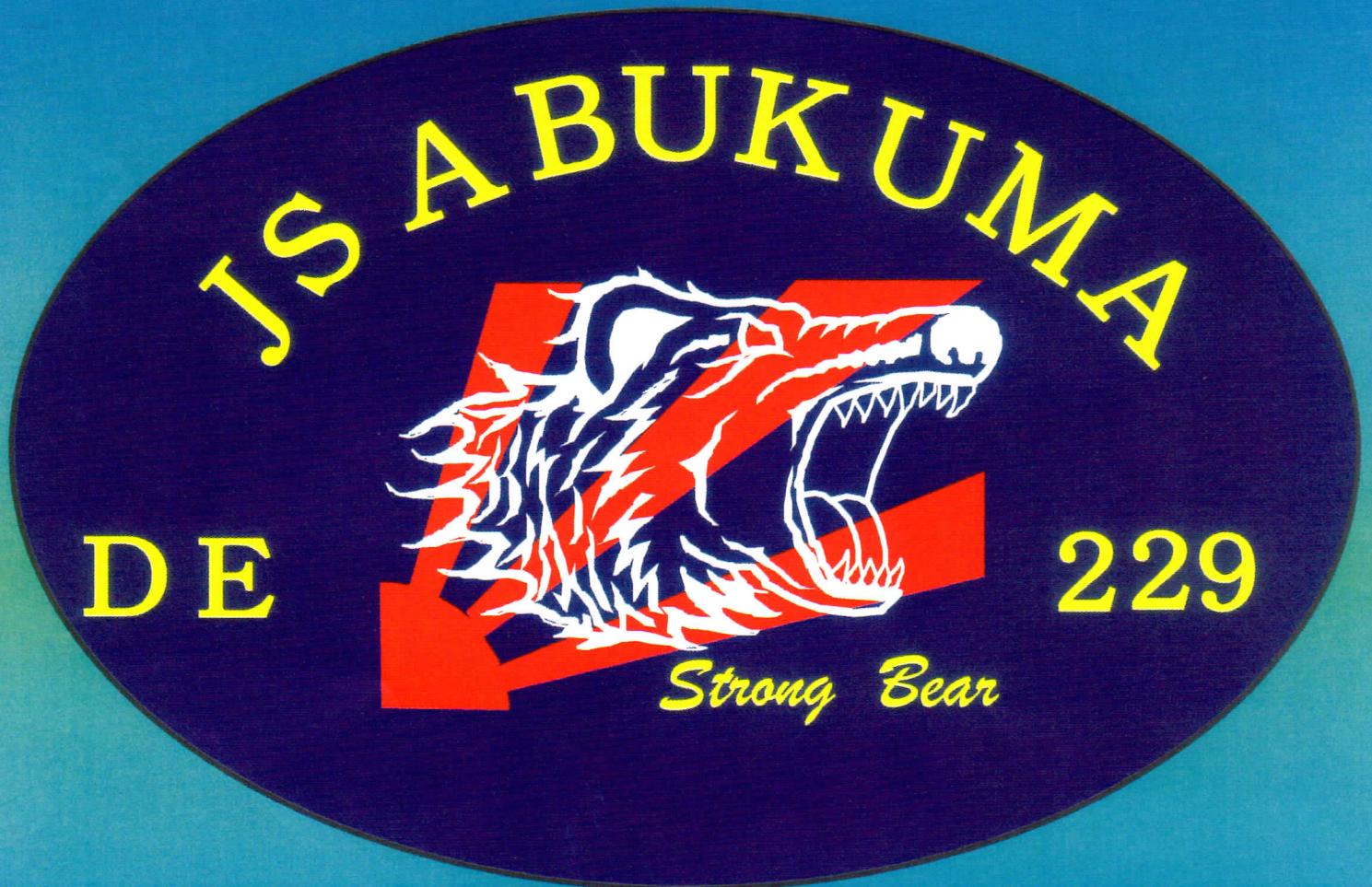


海上自衛隊

護衛艦 あぶくま



ようこそ護衛艦「あぶくま」へ

本日は、ようこそ護衛艦「あぶくま」に御来艦くださいました。皆様の御来艦を、乗員一同、心から歓迎致します。

本艦は、対潜水艦戦、水上打撃戦及び防空戦能力を備えたあぶくま型護衛艦の第1番艦として建造され、海上交通の安全を確保することを主な任務としています。

我々は、この「あぶくま」に乗り組んでいることを誇りとし、昼夜を問わず任務にまい進しております。

本日は、艦内を御覧頂き、海上自衛隊並びに「あぶくま」に対する御理解を賜れば幸いに存じます。

今後とも、海上自衛隊に対する一層の御支援、御理解を賜りますよう、よろしくお願い致します。

あぶくま艦長



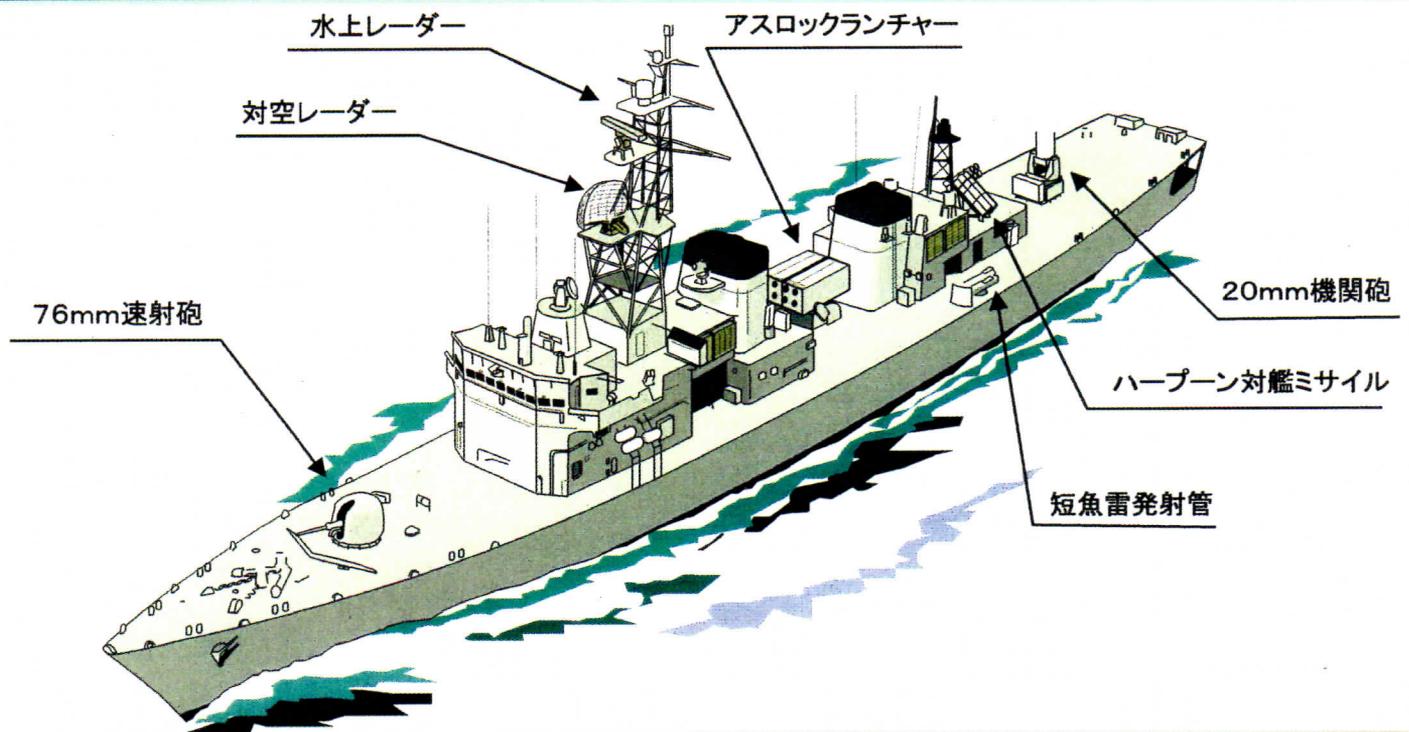
護衛艦あぶくまの概要

1 艦歴

昭和63年 3月17日	三井造船株式会社玉野艦船工場において起工
昭和63年12月21日	進水
平成元年12月12日	就役
同上	舞鶴地方隊 第31護衛隊に編入
平成15年11月 6日	舞鶴地方隊 第24護衛隊に編入
平成20年 3月26日	護衛艦隊 第14護衛隊(舞鶴)に編入
平成22年 3月15日	護衛艦隊 第12護衛隊(呉)に編入
平成23年 3月11日 ~5月 9日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に関する 災害派遣に出動

2 要目

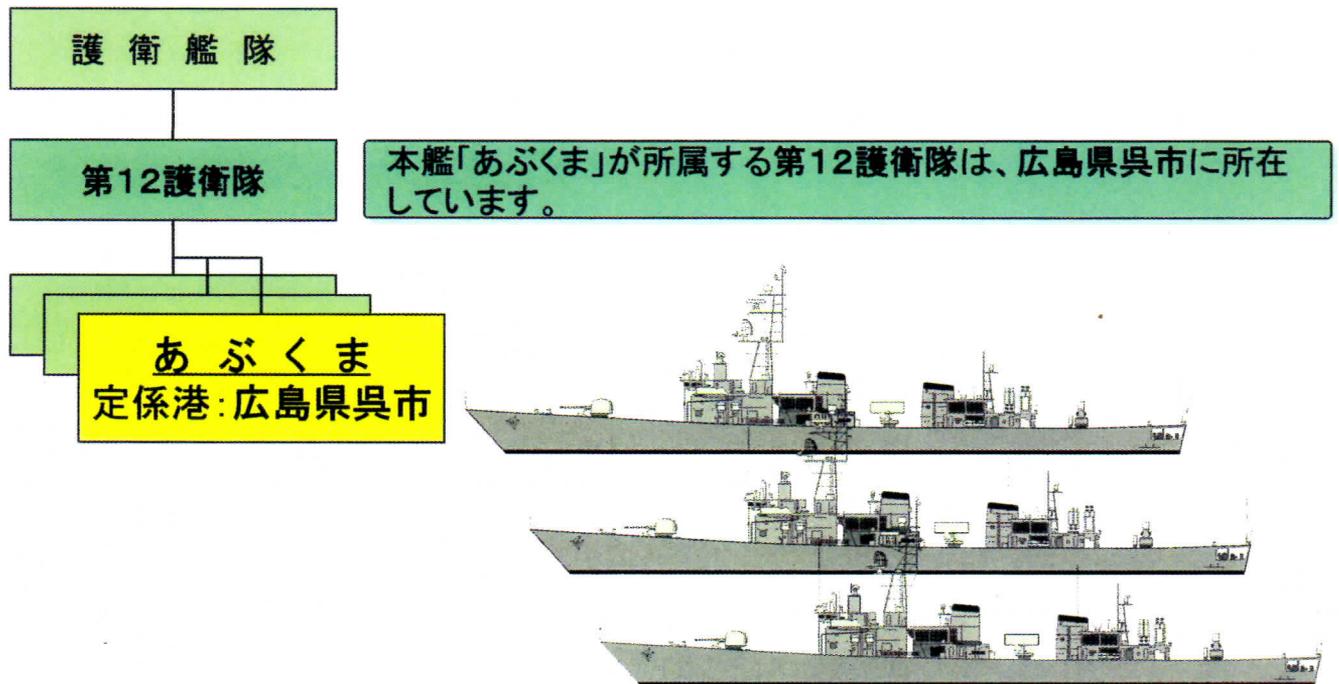
基準排水量	: 2000トン	主機	: ガスタービン2基、ディーゼル2基
全長	: 109m	馬力	: 27000馬力/2軸
幅	: 13.4m	最大速力	: 27kt(約50km/h)
喫水	: 3.8m	定員	: 約120名



3 兵装

76mm速射砲		×1
CIWS(高性能20mm機関砲)		×1
ハーブーン対艦ミサイル	4連装	×2
アスロックランチャー	8連装	×1
短魚雷発射管	3連装	×2
チャフ装置	6連装置	×2

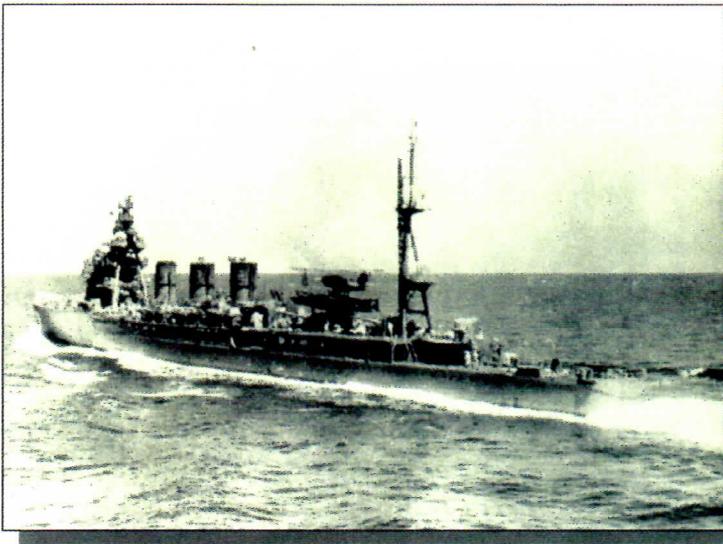
部隊編成



艦名

あぶくま

護衛艦の名称は、天象、気象、山岳、河川、地方の名から付けられています。本艦の艦名「あぶくま」は、福島県那須岳に源を発し、仙台平野で太平洋に注ぐ「阿武隈川」に由来しています。なお、同型艦に「じんつう」、「おおよど」、「せんだい」、「ちくま」、「とね」があります。



初代阿武隈

初代阿武隈は大正時代の有名な「八八艦隊計画」(戦艦8隻・巡洋戦艦8隻)の一環として14隻建造された、いわゆる「5500t型」軽巡洋艦の1隻で、当時としては画期的な速力36ノット(時速67km)と重雷装の艦として大正14年5月26日に完成しました。完成後は数度の近代化工事を受けて、航空機を搭載する等戦力を強化し、太平洋戦争においてはハワイ奇襲に参加し、南はニューギニアから北はアリューシャン列島まで各地を転戦し、有名なキスカ撤退作戦においては陸兵救出に活躍しました。その後、いわゆるレイテ沖海戦に参加しましたが、損傷し、応急修理の後、帰投中に米軍機の攻撃を受け、勇戦むなく、昭和19年10月26日、フィリピン南方ミンダナオ海において沈没しました。

海上自衛隊サイト

<http://www.mod.go.jp/msdf/>

海上自衛隊携帯サイト

<http://www.mod.go.jp/msdf/mobile/index.html>

